

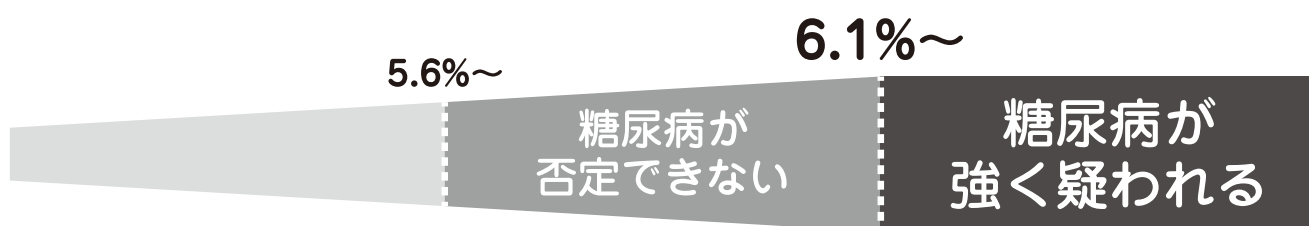
健診受診者の方へ

ヘモグロビン・エイワンシー

HbA1cとは…

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。
HbA1cはヘモグロビン・エイワンシーと読み、
過去1～2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、
糖尿病の診断にも使われます。

HbA1c(JDS)値が 6.1%以上の場合、 糖尿病が強く疑われます。



診療所や病院では、2012年4月から新しいHbA1c(NGSP)が使われます。

健診などで使われているHbA1c(JDS)とは、およそ0.4%違うので、ご注意ください。

これまで：JDS値

2012年4月から：NGSP値

例えば **6.1%** $\xrightarrow{+0.4\%}$ **6.5%**